

## 議会運営委員会

### 佐野 和彦 委員長コメント

9月定例会を迎えるにあたり、議会運営委員会で国会や県議会などを参考に検討を重ね、基本的な感染症対策をした上で過度な対策にならない議会運営を目指した結果、議員は会期中に1人の感染者も出さず、無事に定例会を終えることができました。しかし、今後第8波が心配されるため、冷静な判断と適切な議会運営を委員全員で考えていきたいと思っております。その他、議会提出議案では、富士宮市議会議員政治倫理条例が上程され可決されました。



## 環境厚生委員会

### 渡辺 佳正 委員長コメント

新型コロナウイルス感染症第7波では、市立病院の診療制限やクラスター対策による病棟受け入れが行われましたが、富士市立中央病院などとの連携で医療崩壊の危機を乗り越えました。

今回の感染対応の教訓を、今後の感染症対策と富士医療圏内における病院間の連携強化に活かしていくことが大切です。

また、第7波では救急医療センターへの抗原検査キット配布センター設置、自宅療養者への物資支援、「在宅支援相談窓口」による相談対応を実施しました。

これらの体制を一層充実させて、今後の感染拡大への不安解消に備えていくことが求められます。



## 産業都市委員会

### 辻村 岳瑠 委員長コメント

森林は、市民生活に様々な恩恵をもたらす緑の社会資本であります。

すべての市民が森林からの恩恵を享受できるように、市の新たな施策事業計画である「森林環境整備方針」について所管事務調査を行いました。本方針の財源は、森林環境譲与税であり、制度創設の趣旨は「森林の有する公益的機能は、国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備等を進めていくことは、国民の生命を守ることにつながる一方で、所有者や境界が分からない森林の増加、担い手不足等が課題となっている」とあります。

森林環境整備方針で、すべての市民の生活に広く恩恵を享受できるように有効な施策に繋がるよう当委員会では、今後も継続して調査していきたいと思っております。

